

小頓別森林事務所 管内概要

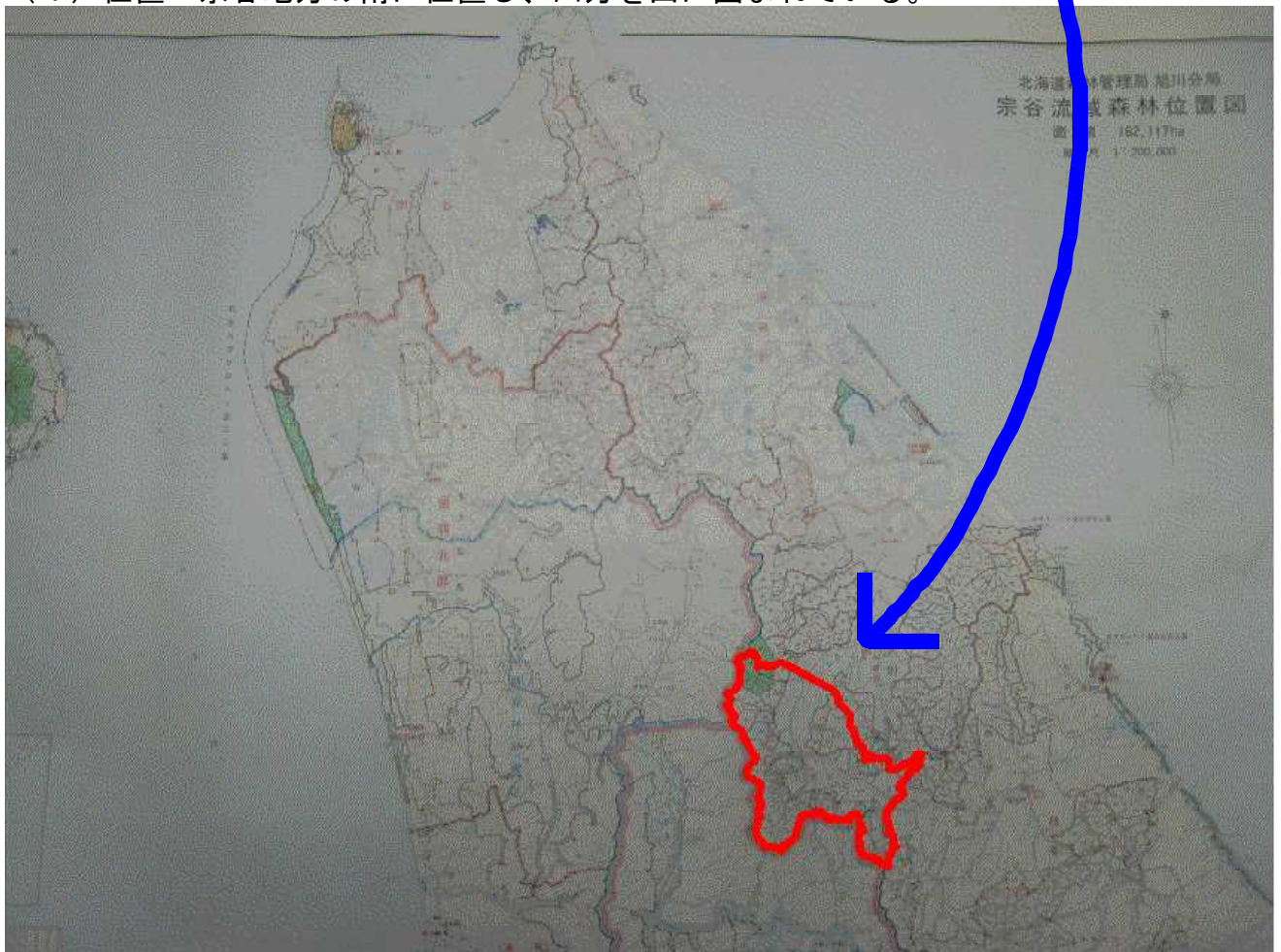
事務所所在地 〒098-5551 枝幸郡中頓別町字中頓別
電話 01634-6-1313
FAX 01634-6-1314



建物は中頓別森林事務所と合同です

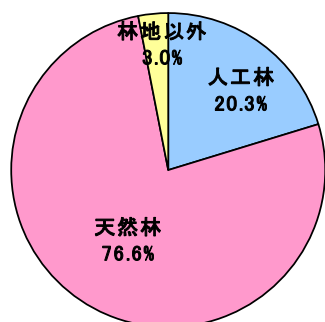
1 森林の位置及び面積

(1) 位置 宗谷地方の南に位置し、四方を山に囲まれている。

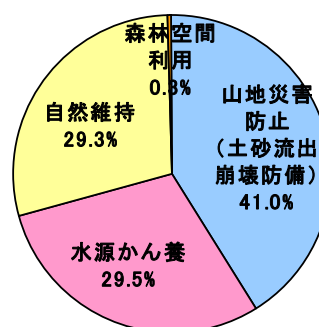


(2) 面積 中頓別町国有林24,618haのうち、小頓別管内9,837ha

人天別面積割合



機能類型別面積割合



管内には、初心者の登山に最適な敏音知岳（ピンネシリ）がそびえ、四季のたたずまいをその山肌に映し出し、美しい景観をつくっています。



春、雪解けの始まった敏音知岳



夏の敏音知岳

また、敏音知岳の登山道脇には高山植物等さまざまな見所があります。



千本シナと名付けられたシナの巨木



オオタチツボスミレ



エゾエンゴサク

その他、森林にはさまざまな動物もいます。



木の上で休むシマリス



笹の陰からこちらを伺うエゾシカ



餌を求めて歩くヒグマ（後姿）

ヒグマ出没注意！

管内には多数のヒグマが生息していると思われます。

レクリエーションのために入林する際には必ず森林事務所または森林管理署に連絡して、入林届けを提出してください。

また、実際に入林する際には一人行動は避け、熊鈴を身につける等音をたてることで人の存在をヒグマに知らせてください。

ヒグマは基本的に臆病な動物なので物音がする方には近づかないといわれています。

2 森林事務所の主な仕事

(1) 造林事業

木を伐った跡地や木が枯れてしまったところに、新しく木を植えて（植付）、その後約8年間植えた木の生長を阻害する周りの草や笹を刈り（下刈）、さらに植えた木の成育を阻害する広葉樹を伐ったり（除伐）、密度調整のために間引きをしたり（保育間伐）して森林を育てる事業のことです。



下刈が必要なトドマツの苗木



除伐が必要なアカエゾマツ林

(2) 林況調査

造林により順調に育った森林は主間伐を行うことで木材を供給し、そこにまた新たに造林することで様々な種類の樹木が何層にも広がった複雑な森林へと変化していきます（これを針広混交林化、複層林化と呼びます）。

複雑な森林は、保安林機能が強化され、生物多様性にもよい影響があります。

そこで、主間伐作業を実施する場所を決めるためには、常に森林の状態を確認している必要があります。そのための調査を林況調査といい、植えた木の幹の太さと樹高からそれぞれの森林の現況を把握しています。

(3) 境界の管理

国有林の敷地と国有林以外の敷地との境界を明確にするために、境界標と呼ばれる石（コンクリート等素材は様々です）の保存状態を確認したり、石の位置を知らせる見出し標と呼ばれる標識を設置したりしています。



見出し標を設置して、目立つように赤ペンキを塗布しています

3 地域との連携

中頓別町との森林整備に関する協定

豊平地区の国有林と町有林で森林共同施業団地を設定して、森林整備の方法や路網の共同利用等を定め、国有林と町有林が一体となって集約的かつ効率的な森林整備等を推進することとしています。



林業専用道新設工事



中頓別町等との林業専用道現地検討会の様子